

# 主な議案 9月 定例会

今回は、平成23年度決算の認定と刈谷市防災会議条例及び刈谷市災害対策本部条例の一部改正についてなどです。質疑については、本会議で報告された各委員会の委員長報告を要約して掲載します。

## 平成23年度決算を認定 一般会計・特別会計で31億円の歳入減

24日の決算審査特別委員会で、分科会での審査結果を踏まえ、採決を行いました。

決算審査特別委員会審査のあらまし  
本会議での説明後、議員選出の監査委員（山内智彦議員）を除く全議員で構成する決算審査特別委員会を設置しました。

一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計については、起立採決の結果、賛成多数により、原案のとおり認定することに決定しました。

そのほかの決算議案については反対意見はなく、原案のとおり認定及び可決しました。

（分科会での主な質疑項目）

■企画総務関係  
保育士・幼稚園教諭の採用人数確保の対策、時間外勤務の多い職員の健康管理

■福祉経済関係  
水質汚濁調査の対象河川と調査方法、中小企業防災対策支援事業の内容と参加企業の反響、児童クラブの職員配置基準と長期休暇中の職員体制、はやぶさ帰還カプセル特別公開事業の効果、公立保育所指定管理業務における指定管理料の内訳、不妊治療の申請件数、労働者福祉助成事業の周知方法

■建設水道関係  
耐震の診断や改修件数が伸びた要因と住宅耐震化促進の今後の取り組み、市営住宅長寿命化の具体的な整備内容、水道事業会計の剰余金積み立ての考え方

■文教関係  
コンピュータ教育事業費の前年度からの増額理由とパソコンの設置台数の考え方について



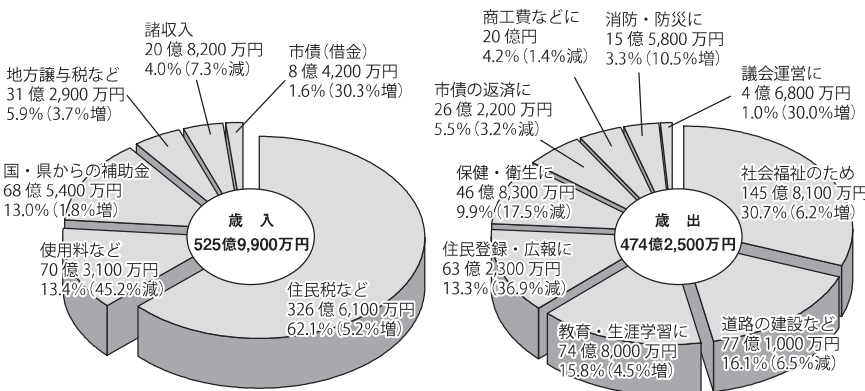
代表監査委員による意見陳述

## 各会計別の決算額

会計名	歳入 (前決算年度対比)	歳出 (前決算年度対比)	形式収支 (歳入歳出差引額)
一般会計	525億9,900万円 (▲6.9%)	474億2,500万円 (▲7.6%)	51億7,400万円
特別会計	232億2,100万円 (+3.4%)	214億7,700万円 (+3.5%)	17億4,400万円
合計額			
水道事業会計	25億8,600万円 (+0.3%)	24億8,600万円 (▲0.8%)	1億円
各会計の合計額	784億600万円 (▲3.8%)	713億8,800万円 (▲4.3%)	

特別会計内訳	歳入	歳出
区画整理事業合計	7億9,800万円	4億6,000万円
下水道事業	47億2,100万円	41億3,700万円
国民健康保険	110億9,700万円	103億2,700万円
後期高齢者医療	11億1,200万円	11億900万円
介護保険	54億9,300万円	54億4,300万円

## 一般会計の内訳 (前決算年度対比)



### (地方譲与税その他の内訳)

- ・利子割交付金・配当割交付金・株式等譲渡所得割交付金
- ・地方消費税交付金・自動車取得税交付金
- ・地方特例交付金・地方交付税・交通安全対策特別交付金

### (使用料その他の内訳)

- ・手数料・分担金及び負担金・財産収入・寄附金・繰入金
- ・繰越金

### (商工費その他の内訳)

- ・農林水産業費・労働費・災害復旧費・諸支出金

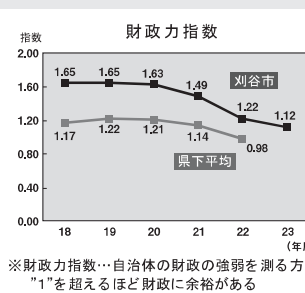
(注) それぞれの数字は四捨五入してそろえたため、総額や割合に一致していない場合があります。

## 監査委員の意見 (要旨)

### Ⅱ 一般会計・特別会計

本年度の決算状況は財政指標面からも良好なものと判断された。今後の財政状況は、本市の基幹産業である自動車関連産業においては、東日本大震災やタイの洪水による被害を受けたサプライチェーンも復旧し、平成24年の年明け以降、自動車生産は持ち直してきている。また東日本大震災からの復興需要が内需押し上げの効果をもたらしており、経済雇用など景気の明るい兆しも見えてきている。

一方、懸念材料は、欧州の政府債務危機や中国をはじめとする新興国経済の減速、そしてそれに伴う円高ドル安、ユーロ安の定着化による輸出採算の悪化である。工場など生産拠点を国外流出、雇用の悪化、税収の減少などが心配され、不安な要因となっている。



増加にどのように対応するかについては、国の政策によるところが大きいことから、国の税と社会保障の一体改革の動向について特に注視しなければならない。また、老朽化した公共施設の計画的な維持補修及び改修、南海トラフの巨大地震に対する防災強化への対応などは着実な施策の実施が望まれ、難しい財政運営が続くことが予想される。

### Ⅲ 水道会計

本年度の純利益は5,915万3千円となり、これまでの企業の営業活動によって獲得した利益の蓄積を示す利益剰余金は11億2,102万9千円となっている。このことは、効率的な給水に努めた企業努力によるところが大きいと判断される。

貸借対照表から主要な経営指標をみると、構成比率のうち財務状態の安全性を示す自己資本構成比率は90.1%で、流動負債のうち未払金が前年度と比較して増加したことにより、1.9ポイント減少した。また、他機関からの資本依存度を示す固定負債構成比率は5.9%で、新たに2億円の企業債の起債が行われたため企業債残高が前年度と比較して増加したことにより、0.3ポイント増加した。この2つの指標は、若干悪化したものの依然として経営の安全性が高いことを示している。

# 平成23年度に取り組んだ主な事業

## 都市環境分野……

### 都市と自然が織りなす住みよいまちづくり

- 住宅用太陽光発電システムの設置者に対し、1kw当たり6万円、最大24万円の補助を実施 1億314万円
- 低炭素都市を目指し、自転車マップの作成等、CO<sub>2</sub>排出抑制を推進 282万円
- 公共施設連絡バスの運行を4路線から6路線に拡大 1億8,769万円
- 刈谷駅南北連絡通路にエスカレーターを設置 1億7,219万円
- 岩ヶ池公園に大型遊具を整備 6,435万円

## 教育文化分野……

### 生きる力を育み生きる喜びを実感できるまちづくり

- 小惑星探査機「はやぶさ」の帰還カプセルの特別公開及びJAXA川口淳一郎氏の講演会を実施 371万円
- 市民館にエレベータを設置 1億3,020万円
- 小高原、日高、衣浦、富士松東の各小学校及び刈谷南中学校の大規模改造等を実施 4億6,580万円
- 名誉市民である、フェアイトの父加藤与五郎の生家跡を整備 349万円
- 旧市役所南庁舎を改修し、市民ボランティア活動センター、国際プラザ、社会教育センターの各施設を集約した市民交流センターを整備 4億4,897万円
- 画家・絵本画家として知られる安野光雅の展覧会を開催し、貴重な原画等を展示 1,767万円
- 総合文化センターを広くPRするため、一青窈のコンサートなどを開催 2,574万円
- グリーングラウンド刈谷にナイター設備を設置 6,086万円

## 産業振興分野……

### 人と技術で賑わいを創り笑顔で働き続けられるまちづくり

- 農業認定者の育成を図るため、農業用機械の導入や農業用施設の整備にかかる費用の一部を補助 151万円
- 親子料理教室や研修会の開催等により食育を推進 18万円
- 市内企業の新たな技術開発促進のため、開発にかかる費用の一部を補助 411万円
- 市内中小企業に対し、地震等の災害に備えた復興計画策定に対する支援を実施 394万円

## 福祉安全分野……

### 支えあいみんなが元気で安心して暮らせるまちづくり

- かりがね子育て支援センターの整備と合わせ、病児・病後児保育室かりがね病児ケアルームを整備 1,315万円
- 住吉、平成、富士松南の各小学校の敷地内にそれぞれ2つの児童クラブを整備 1億9,975万円
- 障害のある人の自立や社会参加促進のため、旧保健センターを改修し、障害者支援施設を整備 1億4,559万円
- 定期予防接種に加え、子宮頸がん予防ワクチンやヒブワクチンなどの接種を実施 5億6,095万円
- 木造住宅耐震改修費補助額を60万円拡充し120万円へ拡大 1億3,345万円
- 医師や健康運動指導士等の指導による個別支援教室の開催など、健康づくりのきっかけ作りや運動習慣の定着を促し、市民の健康づくりを支援 2,488万円
- 救命救急センターに指定された刈谷豊田総合病院の救急医療機器等の整備にかかる費用の一部を補助 2,300万円

## 計画推進分野……

### 市民と行政の信頼と協働で築くまちづくり

- 行政評価委員会を設置し、事務事業を対象に一般公開による外部評価を実施 296万円
- 圏域住民の利便性向上等のため、定住自立圏形成協定に基づき、知立市、高浜市、東浦町と具体的な取り組み内容を定めた定住自立圏共生ビジョンを作成 147万円
- 国際化・多文化共生推進のため、市民の代表者を変えて推進計画を策定 305万円



小学校の敷地内に整備された住吉児童クラブ

## 水道事業のあらまし

項目	23年度	対前年度比較	
		増減数	増減率
総人口	145,970人	435人	0.3%
給水人口	145,745人	446人	0.3%
普及率	99.8%	0.0%	-
給水戸数	60,233戸	1,008戸	1.7%
配水量	18,739,926㎡	▲54,305㎡	▲0.3%
市水配水量	4,764,815㎡	▲164,980㎡	▲3.3%
県水配水量	13,975,111㎡	110,675㎡	0.8%
県水依存率	74.6%	0.8%	-
有収水量率	94.7%	0.0%	-
1人当たり平均給水量	333ℓ	▲2ℓ	▲0.6%
1㎡当たり給水収益	133.32円	0.18円	0.1%
1㎡当たり給水費用	134.68円	0.22円	0.2%



17,000人を超える来場者があった「はやぶさ」帰還カプセル特別公開事業

## 議決結果一覧表

平成23年度刈谷市一般会計継続費の精算について 教育委員会委員の選任について	了承 同意
【企画総務委員会関係・2議案】 特別職に属する職員の給与及び旅費に関する条例の特例を定める条例の制定について 刈谷市防災会議条例及び刈谷市災害対策本部条例の一部改正について	すべて可決
【福祉経済委員会関係・1議案】 刈谷市産業振興センター条例の一部改正について	可決
【建設水道委員会関係・2議案】 指定管理者の指定について（岩ヶ池公園） 工事請負契約の締結について （公共下水道雨水幹線整備工事（市道3-93号線他））	すべて可決
【平成23年度決算関係・10議案】 一般会計歳入歳出決算認定について 刈谷半城土高須土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について 刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について 刈谷野田北部土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について 下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について 国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について 介護保険特別会計歳入歳出決算認定について 水道事業会計未処分利益剰余金の処分について 水道事業会計決算認定について	すべて可決
【平成24年度補正予算関係・4議案】 一般会計補正予算（第2号） 後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） 介護保険特別会計補正予算（第1号） 水道事業会計補正予算（第1号）	すべて可決
【議長発議 1件】 議員の派遣について	決定
【議員提出議案 1件】 定数改善計画の早期実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書	可決